

松浦民報

2018年 8月

発行 日本共産党松浦市委員会 電話・FAX 0956-75-1947
ブログ「ゆう子のひろば」<http://blog.goo.ne.jp/yukoyayukoya>



日本共産党松浦市議会議員
**安江ゆう子の
市議会だより**

6月議会

安江市議の一般質問

日本共産党の安江ゆう子市議は、定例6月議会において、青島診療所の常駐医師確保、松浦市非正規職員の待遇改善、18歳未満の国保税均等割、「げんきこころひろば」存続について一般質問しました。

青島地区に常駐の医師を

離島の青島地区は、救急・夜間の対応には、御厨港まで船での搬送となっており、救急搬送に対し不安があり、常駐医師の確保に強い要望が出されています。安江ゆう子市議は、命を守ることを優先した対策を求めて質問しました。

また、体験型旅行で青島地区に年間約2500人が来られていますが、常駐医師不在となれば、今後、影響が出てくるのではないのでしょうか。



青島診療所

市長 青島診療所に常駐の医師がいない、夜間の診療ができないということについて、青島地区の皆さんが大変不安に思っておられること、体験型旅行で生徒が訪れる中で診療体制が十分でない、この現状を放置することは出来ないとの認識は十分持っています。一方、医師不足の中、離島に来て頂く医師が見つからない問題もある。一晩我慢さ

て、青島地区の皆さんが大変不安に思っておられること、体験型旅行で生徒が訪れる中で診療体制が十分でない、この現状を放置することは出来ないとの認識は十分持っています。一方、医師不足の中、離島に来て頂く医師が見つからない問題もある。一晩我慢さ

れて亡くなったという事が、再び起こらないようにしなければならぬと思っている。医師確保も当然だが、それ以外の方法についても地域の皆様方と十分に話し合っていかなければならないと考えている。今後、限られた財源の中で、青島地区のまちづくり、医療も含めてどのような対策を講じるのが地域にとっていいのか検討したい。

非正規職員も安心して

働き続けられる職場を

松浦市職員の約38%が非正規の職員です。非正規職員の方々は、長い方では、20年以上勤務されている方もおられるなど、市政の運営にとって欠かすことのできない存在になっっています。安江ゆう子市議は、非正規職員も働きやすい働きがいのある職場を求め

て質問しました。
安江 非正規職員に通勤手当や一時金を支払うとすれば、試算はどのくらいですか。

政策企画課長 通勤手当は約940万円、一時金は約1億4900万円の試算結果。

安江 2008年8月、人事院事務総長から、国の非常勤職員の改善についての通知が出されています。①非常勤職員の給与決定にあたって、職務内容、職務経験を考慮すること、②通勤手当に相当する給与を支給すること、③相当長期にわたって勤務する非常勤職員に一時金を支給することです。実態として、片道25キロの通勤距離を往復して月額13万円が生活給といえるのですか。

副市長 地方公務員法改正で制度が変わってくるが、国からの情報を収集してから、具体的な検討をしたいと考えている。



政府に直接申し入れ

安江ゆう子市議は、7月11日、12日、日本共産党長崎県委員会の政府交渉に参加しました。安江市議は、玄海原発3、4号機の再稼働は中止すること、原発から30キロメートル圏内の自治体にも再稼働への同意権を法的整備すること、防災対策の充実を国の責任で図ることなどを関係省庁に申し入れました。

玄海原発再稼働中止を